

2018年3月期 第2四半期決算の概要について

2017年10月31日
住友精密工業株式会社

I. 2018年3月期 第2四半期決算 及び 通期予想 - セグメント業績①



[対前年度比較]

<航空宇宙>

上期：油圧機器等の販売が堅調に推移し、増収増益。

通期：販売面では航空機用熱交換器等の増加を見込むも、民間航空機用脚部品の一部減少により前期並みに留まる。損益面では、経費削減等により好転。

<熱交換器・環境>

上期：販売面では、熱交換器の需要低迷が続き、前年下期を下回る水準まで減少。損益面では、コスト改善等の合理化により挽回を図るも、僅かながら後退。

通期：下期は一定の販売回復を見込むも、上期落ち込みをカバーするには至らず減収減益。

<ICT>

上期：マイクロマシニング装置他の受注堅調も、販売の下期ずれ込み等により減収減益。

通期：販売面では、半導体製造用熱処理装置等の受注増加により増収。損益面では、販売増加に加え、センサネットワーク事業等の撤退により増益。

<対米ドル為替(期中平均)> <108> <109> <111> <110> (億円) <110>

	2017年3月期(※)			2018年3月期			対前年度差異			年初 通期 予想
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 予想	通期 予想	上期	下期	通期	
売上高	226	254	480	206	274	480	-20	20	0	480
航空宇宙関連	147	164	311	150	160	310	3	-4	-1	310
熱交換器・環境	56	47	103	36	59	95	-20	12	-8	105
ICT	23	43	66	20	55	75	-3	12	9	65
営業利益	-0.4	7.7	7.3	-0.6	9.1	8.5	-0.2	1.4	1.2	8.5
			1.5%			1.8%	0.0%	0.0%	0.3%	1.8%
航空宇宙関連	5.9	1.9	7.8	6.9	2.1	9.0	1.0	0.2	1.2	5.5
			2.5%			2.9%			0.4%	1.8%
熱交換器・環境	-3.0	0.3	-2.7	-3.5	0.0	-3.5	-0.5	-0.3	-0.8	1.0
			-2.6%			-3.7%			-1.1%	1.0%
ICT	-3.3	5.5	2.2	-4.0	7.0	3.0	-0.7	1.5	0.8	2.0
			3.3%			4.0%			0.7%	3.1%

※組織変更等に伴い、当該会計年度の売上高および営業利益のセグメント別内訳を見直しております。

[対当初計画比較]

<航空宇宙>

上期：民間航空機向け一部開発品等のずれ込み影響があるも、油圧機器等の増加に伴い、販売面は当初計画通り。損益面では、品種構成等の改善、経費の削減に加え、一部開発費の下期ずれ込みにより好転。

通期：販売面は、民間航空機向け脚部品の来期へのずれ込み等に対し、航空機用熱交換器および油圧機器が堅調に推移し、当初計画を維持。損益面では、経費削減主体に改善。

<熱処理・環境>

上期：販売面では、熱交換器において計画未達。損益面では、販売構成の改善および一部経費の下期ずれ込みにより赤字縮小。

通期：LNG気化器・低温工業用熱交換器を主体にエネルギー関連の投資活動における長期低迷から一定の回復を見込むも、その遅れにより減収減益。

<ICT>

上期：マイクロマシニング装置他の受注堅調も、販売の下期ずれ込み等により減収減益。

通期：半導体製造用熱処理装置等の受注増加により増収増益。

<対米ドル為替(期中平均)> <110>

<110> <111>

<110>

(億円)

	当初計画			上期実績及び予想			対当初計画差異		
	上期 当初	下期 当初	通期	上期 実績	下期 予想	通期 予想	上期	下期	通期
売上高	215	265	480	206	274	480	-9	9	0
航空宇宙関連	150	160	310	150	160	310	0	0	0
熱処理・環境	40	65	105	36	59	95	-4	-6	-10
ICT	25	40	65	20	55	75	-5	15	10
営業利益	-12.0	20.5	8.5	-0.6	9.1	8.5	11.4	-11.4	0.0
			1.8%			1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
航空宇宙関連	-2.0	7.5	5.5	6.9	2.1	9.0	8.9	-5.4	3.5
			1.8%			2.9%			1.1%
熱処理・環境	-7.0	8.0	1.0	-3.5	0.0	-3.5	3.5	-8.0	-4.5
			1.0%			-3.7%			-4.6%
ICT	-3.0	5.0	2.0	-4.0	7.0	3.0	-1.0	2.0	1.0
			3.1%			4.0%			0.9%

営業外損益： 対米ドル為替レートの水準に関しては、昨年度（通期平均 約109円）及び当期の当初想定（110円）に対し、上半期は期を通じて安定的に推移し、僅かに円安(上期平均111円)。下期の想定レートは、当初計画通り 110円。

これにより、営業外為替差損益については、昨年度は上期の円高進展に伴い損失が拡大したが、当期は大幅に縮小。

特別損益： 今年度は現時点見込まず。

配当： 今期の業績動向等も総合的に勘案した結果、年間の配当予想は、当初予想通り、1株当たり5円（上下期各 2.5円）に据え置くこととさせていただきます。

(億円)

(参考)

<対米ドル為替(期末)> <112> <112> <112> <110>

<110> <110>

	2016年 3月期 実績	2017年 3月期 実績	2018年3月期			18/3-17/3 通期 増減	2018年3月期当初計画		
			上期 実績	下期 予想	通期 予想		上期 当初	下期 当初	通期
売上高	512	480	206	274	480	-	215	265	480
営業利益	13.1	7.3	-0.6	9.1	8.5	1.2	-12.0	20.5	8.5
(営業利益率)	2.6%	1.5%	-0.3%		1.8%	0.3%	-5.6%		1.8%
営業外収益	2.6	2.9	2.4	0.2	2.6	-0.3	0.7	0.7	1.4
営業外費用	-12.5	-9.4	-2.2	-3.4	-5.6	3.8	-2.2	-2.2	-4.4
経常利益	3.2	0.8	-0.4	5.9	5.5	4.7	-13.5	19.0	5.5
(経常利益率)	0.6%	0.2%	-0.2%		1.1%	1.0%	-6.3%		1.1%
特別損益	-8.9	-11.2	-	-	-	11.2	-	-	-
税引前当期利益	-5.7	-10.4	-0.4	5.9	5.5	15.9	-13.5	19.0	5.5
当期純利益	-6.2	-14.9	-2.3	4.3	2.0	16.9	-11.0	13.0	2.0
EPS(円/株)	-11.8	-28.1	-4.3	8.1	3.8	-	-20.8	24.6	3.8
ROE	-	-	-	-	0.6%	-	-	-	0.6%
配当(円/通期)	7.0	5.0	2.5	2.5(予定)	5.0(予定)	-	2.5(予定)	2.5(予定)	5.0(予定)

当初計画通りに使用総資産の圧縮を推進中

⇒ フリーキャッシュフロー（FCF）

- ・ 上期FCF +40億円
- ・ 下期販売集中への対応として、本年3月末に対して9月末の在庫が増加となるも、翌3月末については、当初計画通りに在庫等の資産圧縮が進む見通し。

（連結値）

（億円） <参考>

	2013年 3月末 実績	2014年 3月末 実績	2015年 3月末 実績	2016年 3月末 実績	2017年 3月末 実績	2017年 9月末 実績	2018年 3月末 予想	2018年 3月末 当初計画
総資産	756	799	819	830	778	782	780	780
有利子負債合計	272	284	296	317	304	301	285	285
自己資本(純資産)	336	332	354	336	323	325	322	322
D/E レシオ	0.81	0.85	0.84	0.94	0.94	0.93	0.89	0.89
自己資本比率	44.1%	41.0%	42.4%	39.6%	40.5%	40.4%	40.3%	40.3%
ROE	0.8%	1.8%	4.3%	-	-	-	0.6%	0.6%
FCF	-7	-32	-18	-39	27	40	20	20

投資圧縮・資産回転率の向上等、財務体質改善を更に推し進め、キャッシュ創出力向上を図り、安定的なキャッシュフロー黒字体質の維持・構築を図る。

(注) 本資料の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想に内在する不確定要因により、実際の数値は当該予想とは異なる場合があります。

以上